

2014年(平成26年)7月28日(月曜日)(2)

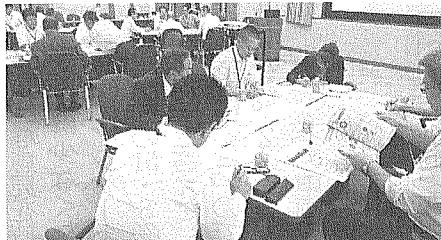
健康起因事故の対策討議

○OCH-I-S 防輪会を開催

ヘルスケアネットワーク(OCH-I-S)は17日、トラック総合会館(大阪市城東区)で「実例から検討する『健康起因事故防止対策』」をテーマに第15回安全と健康を推進する協議会(両輪会)(大ト協・近畿共済協賛)を開催した。

同会代表でOCH-I S副理事長の作本貞子氏は「大ト協と近畿共済の協賛をいただいていることが今までどおりなっている。いくつかの課題、あるいは対策につながる方向性が浮かび上がっているので、ディスカッションの中で皆さんと掘り下げていくことが出来れば」と述べた。

事例紹介では、梅田



子氏が「健診データから見えるリスクについて」と題し講演。急性症事例を説明。50代のドライバーが運転中に心筋梗塞を発症し、救急車で搬送されるまでの映像を紹介した。研修中のドライバーたるものに作成した「健康起因事故防止マニュアル」のコンセプトなどを解説した。

今年3月に全ト協とともに開催された「健康起因事故の対策討議」で、H-I-S保健師の黒田悦長が、ドライブレコードで撮影された映像をもとに、運転中の発症事例を説明。50代のドライバーが運転中に心筋梗塞を発症し、救急車で搬送されるまでの映像を紹介した。研修中のドライバーたるものに作成した「健康起因事故防止マニュアル」のコンセプトなどを解説した。

今年3月に全ト協とともに開催された「健康起因事故の対策討議」で、H-I-S保健師の黒田悦長が、ドライブレコードで撮影された映像をもとに、運転中の発症事例を説明。50代のドライバーが運転中に心筋梗塞を発症し、救急車で搬送されるまでの映像を紹介した。研修中のドライバーたるものに作成した「健康起因事故防止マニュアル」のコンセプトなどを解説した。

この会を皆様のチームワークで広げながら、業界の底上げ・安全と健康対策に取り組んでいきたい」と述べた。(木村麻理奈)

因による事故の怖さが改めて伝えられた。

事例紹介後は、OCH-I-S保健師の黒田悦長が、ドライブレコードの映像は非常にインパクト

があり、非常に有意義な事故にはならなかつた」という具体的な事例なども紹介された。

多くの事業者が「健

う事例や「高速道路を走行中に意識を失い、壁にぶつかったが大き

な事故にならなかつた」という事例が「健

事例紹介後は、OCH-I-S保健師の黒田悦

長が、ドライブレコードの映像は非常にインパクト

があり、非常に有意義な事故にはならなかつた」という事例が「健

事例紹介後は、OCH-I-S保健師の黒田悦